本年六月中霞ヶ関史談会ヨリ東京市小石川区
雑司ヶ谷町黒崎雄二方ヘ嘉永以降國事ニ殉死
セル姓名年月日場所等ヲ申来リ候趣ニ付雄二
ヨリ拙者ヘ取調ベ方申来リ依テ取調雄二方ヘ回答
致シ候間定メシ史談会ノ方ヘモ御記入済ノ事ト存ジ
居候処今般九月廿四日水戸市上市八幡町水藩事
蹟取調所ヨリ九月廿日迄ニ殉死年月日及事蹟
等ノ事申来リ候ニ付取調ベ候ヘ共延々ニ相成其故
水戸ノ方ヘ回答致サズ直接御会ヘ御送附申上候
猫殉死事蹟及家寶等ニ対シ御不明ノ事

本年九月廿四日嘉永以降國事ニ殉死セル
事蹟家寶等取調至急差出ス様
申来候処甚ダ延々ニ相成候ヘバ依テ殉死
事蹟家寶等取調書東京史談
会ヘ直接送附致候間左様御承知
奉願上候
久慈郡大子町
廿九年拾月廿日
里崎大輔
水戸市上市八幡町二一九
陰山様方
水藩事蹟取調所
御中

事有候ヘバ私方ヘ御回答相成度候

早々頓首

明治三十九年十月廿一日

茨城県久慈郡大子町

黒崎大輔

東京市一ツ橋文部省内

黒崎藤右エ門父子

史談会

御中

嘉永以降國事ニ殉死セル黒崎藤右エ門父子之事蹟(別)紙之通リ取調ベ御返(附)申(上)候也

但シ家寶(愚)偖之写シ(乞)(又)(お)添ヘ御返(附)〇也

明治三十九年十月廿日

久慈郡大子町

黒崎大輔

水戸市上市八幡町二千百九十一番地（蔭山横方）

水藩事蹟取調所御中

黒崎藤右エ門事蹟

黒崎藤右エ門貞孝洗心ト号ス

里崎藤右エ門諱久比友山ト号ス父藤右エ門貞孝没ス十三歳ニシテ水戸文学ヲ以テ著ハル久比七歳ノ時父貞孝没ス十三歳ニシテ水戸ニ出テ藤田会沢ニ先生ノ門ニ学ビ帰テ家ヲ嗣ゲ幾許モナクシテ大子村里正トナル矢田村ヲ兼帯ス矢田村ハ水戸藩ノ蓄穀倉庫アリテ稗数千俵ヲ貯フ久比代倉庫ヲ監視スル数年ナリキ安政二年士分格ヲ命ゼラル安政年間水戸烈公命ジテ大子ニ郷校ヲ設ク文武館ト稱ス藩久比ヲ挙テ校監トナス文久二年戊午一月烈公ノ四男奥四郎麿君公ニ代ツテ討内ヲ巡視ス文武館ニ二泊ス久比ニ陪食ヲ命ズ且ツ

親ラ敏而好学ノ四大字ヲ書シテ賜フ今尚家寶トシテ之レヲ蔵セリ文久三年幕府ノ譲李ニ至リ水藩内訌ヲ生ジ日(ニ)安カラズ久比意見ヲ藩ニ致ス容レラレズ為メニ校監ヲ辞ス後チ久比黒羽藩ニ依リ江戸ニ上ラントシテ成ラズ国ビ太田原侍医土井竹斉ニ依リ太田原藩士ト稱シ東上シテ小石川邸ニ到リ大ニ為ス所ニアリシモ果サズ久比国史ヲ研精シ曾テ和歌ヲ善クス安政文久ノ間海防ノ議興ルノ時ニ當リ久比屢々攘夷策数万言ヲ建言ス著スル所ニ杉舎集、百詞稿、詞章便覧、製塩考、攘夷策等有リ後チ国難ノ為メ紛乱シテ全部家ニ傳ハラズ嘗禍日々甚シク国勢漸ク急ヲ告ゲ元治元年甲子

十月二十五日武田耕雲斎等本村ニ入ラントスルノ時久比郷人ヲ隨
ヘ之レヲ防グ克タズシテ戍日戦死ス先人ノ墓側ニ葬ル享年四十
此？
三長子與七郎久展家ヲ嗣ギ藤右エ門ト改ム藩藤右エ門
ヲシテ代々郷士ヲ命ジ禄十五石ヲ賜ハル

黒崎藤右エ門

黒崎藤右エ門事蹟

黒崎藤右エ門諱久展少字ハ大吉又與七郎ト稱ス藤右エ門久比
ノ長子ナリ幼ニシテ家学ヲ講究ス長ズルニ及ンテ水藩士酬
逸ニ及ビ中山與惣左エ門氏ノ門ニ入リ専ラ文武ヲ講究ス元
治元年甲子十月二十五日父久比戦死スルヲ以テ家ヲ嗣グ父ガ戦死ノ
功ニ因リ藤右エ門ハ代々郷士ヲ命ゼラレ俸禄十五石ヲ賜フ又大
子村里正トナル幾許モナク水藩黨禍復タ起ル慶応四年
戊辰三月藤右衛門奔テ會津ニ到リ市川三左エ門ノ勢ニ投ズ
始終篤助大夫ニ隨フ翌年十月一日助太夫等ト共ニ水戸城
ヲ陷シ貞芳院ヲ擁シテ官軍ニ降ラントシ大ニ弘道館ニ戰フ

二ヵ三カ〆

同日ニ日藤右エ門ハ彈丸左助ニ中リ負傷ス戦ヘ敗レ下総國銚子港ニ落ツ舟ヲ借リ北海道ニ赴カントシテ果サズ是ヨリ先キ同志各思想ヲ異ニシ同國ハ日市場ニ達スルノ時水藩士山口德之進及ビ三木佐太夫尼子勢ヲ始メトシ同地松山ニ據リ大ニ戦ヲ為メニ先輩諸士概ネ此處ニ戦死ス弟大三郎健在ナルヲ以テ兄藤右エ門ノ負傷ヲ看護スルヲ得大三郎今雄ニト稱ス即チ藤右エ門ハ弟ニ伴ハレ各地ニ伏在ス後チ東京靈岸嶋市川甚右エ門ノ家ニ潜伏ス明治六年六月七日此家ニ於テ病死ス行年二十九歳親戚等上京遺躰ヲ郷里ニ送ル分家黒嵜藤三郎親戚益子弥平大丶ヨリ茨城縣権参事関新平氏ヘ死亡届ヲ為シタルニ六月十八日

仝縣七等出仕小関敬直氏ヨリ埋葬苦シカラザルノ指令有リ藤右エ門嗣子無シ實弟大輔喪主トナリ先塋ノ側ニ埋葬ヲ了シタリ爾来何等ノ御沙汰ナカリシ故大輔ハ明治九年四月中茨城縣権令中山信安氏ヘ士族復籍ヲ出願セシニ仝年九月十一日願ノ趣キ聞届ケ難シノ指令アリ大輔遺憾ナカラ暫ク打捨テアリシモ亦明治二十年一月二十一日茨城縣知事安田定則氏ヘ士族復旧ノ出願ヲナシタルニ屢々取調ベ有リタル後チ仝二十一年二月二十八日聞届ケ士族籍ヘ編入スルノ指令アリ依テ家名再興ス

姓名	身分	殉死年月日	殉死場所
黒崎藤右エ門	士族	元治元年甲子十月二十五日	常陸國久慈郡大子村
黒崎藤右エ門	士族	明治六年癸酉六月七日	東京靈岸嶋

家寶

一家寶トシテ藏幅ニ係ル水戸烈公ノ男奬七郎麿君ノ筆蹟黒崎藤右エ門久比大子文武館校監タリシトキ賜ハリシ者

印

敬而好学

文久壬戌仲冬　環山 印 印

右當戸主黒崎大輔ノ家ニ藏シ置キ候也